

## 公立大学法人大阪 大阪公立大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・都市政策シンクタンクの試みはまだ始まったばかりだが、公立大学の今後には重要なビジョンであり期待している。
- ・エネルギー、農業に集中し、地域振興を図るという狙いは明確であり、都市シンクタンクの提案も良い。
- ・全固体電池は世界競争の中で、早期の研究開発が求められている分野である。関西地域の企業とのコンソーシアムの中で成果が現れることを期待する。
- ・アジアを展望する知のネットワーク作りはユニークであり、国策にも叶うものである。
- ・社会実装及び自治体との連携では「広域データ連携基盤」が重要な取り組みであり、今後の進捗に期待している。
- ・産業界とアカデミアの人材交流活発化は日本の大きな課題の一つだが、「産学協同高度人材育成センター」は注目すべき取り組みであり期待している。
- ・大量生産を可能とする程度の産学連携の具体的成果を期待している。

## 国立大学法人長崎大学 長崎大学

### (審査・評価委員の所見)

- Global One Health のパースペクティブの貢献や、URA の職階、従来の事務部門からの脱却はとても有意義であり期待している。
- COI-NEXTも本格型に移り、地域の拠点大学としての取り組みを順調に進められていることについて評価できる。
- 貴学のシーズ活用が、県外大手企業の研究開発拠点の設置につながっている事例もあり、それら企業と地域企業の連携を促進し、地域産業の活性化に結びつけていくことを期待している。
- 本件採択により、これらの研究領域の内のいくつかで、世界レベルの研究大学になり得る可能性を持っており、期待している。
- 今後よりプロジェクトに係わるステークホルダーが増えてくることが想定されるため、学内体制の整備を急がれたい。
- 文部科学省の地域中核・特色ある研究大学強化促進事業と連動して URA の増強を図ると共に、エネルギー、創薬、ロボット、CN 等の分野で企業との共同研究増加を図っている試みは悪くはないが、悪く言えば平均的である。各々が突出した取り組みとなるようブラッシュアップして欲しい。
- 社会課題の解決につながる研究開発が中心である一方、地域自治体との協力による地域課題への取り組みについてはスタートアップ振興に加えて一層の強化が求められる。

## 兵庫県公立大学法人 兵庫県立大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・価値創造に向けた取り組みにおいて、県の政策、制度設計に入り込み、県の重要政策である水素、播州播磨地区の医療センターにおけるデータ利活用など地域の重要テーマを推進しており、益々の活動を期待する。
- ・新たに取り組むプロジェクトへの参画企業に目星がついており、共同研究による地域産業活性化が期待できる。
- ・文理融合というフレームワークよりも、価値創造型の科学技術の利用についての社会科学的知識の必要性という視点が必要ではないか。
- ・KHI の参画は、プロジェクトの推進にとっては効果的と思うが、地域の中小企業が数多く参画できる仕組みづくりが望まれる。
- ・産業界、特に地場企業との更なる連携強化は課題であり今後に期待。
- ・水素と医療をキーに、水素エネルギー、先端医療、金属素材、放射光、情報等多方面での共同研究拡大を図っている。構想は理解できるが、まだ地域振興についてはスタートしたという段階であり、今後に期待する。
- ・兵庫県との連携は綿密であるが、新産業の創出、スタートアップ活性化などは今後の一層の取り組み強化が必要である。
- ・足下の有力技術を更に卓越した技術に発展させる道筋についても、検討して欲しい。

## 国立大学法人九州工業大学 九州工業大学

(審査・評価委員の所見)

- ・博士課程人材についての戦略的な取り組みは支持できる。PARKSの基幹大学としての活動も評価できる。
- ・半導体産業集積の拠点でもある北九州市において、博士人材の育成や彼らがバックキャストで事業を組み立てられる能力を高めるような人材育成の取り組みを進めていただきたい。
- ・地域産業集積にマッチした取り組みで、我が国の半導体産業の高度化に寄与するものであり評価できる。
- ・半導体・ロボット・パワエレ等の従来の強みを活かした取り組みが具体的であり、本事業により地域振興加速に期待できる。
- ・北九州市や安川電機など官民との協同研究、実装化への取り組みは今後も相応の成果が期待される。
- ・「極限環境に於ける自立 AI ロボット開発とその社会実装拠点化」は特色ある取り組みであり、今後の発展性を見極めていきたい。
- ・地元中堅・中小企業の巻き込みにも注力し地域振興に貢献して欲しい。

## 国立大学法人山形大学 山形大学

(審査・評価委員の所見)

- ・シーズプッシュ型からニーズプル型への研究開発の方向転換から生まれてきた、食や農への展開について姿が見えてきたように思う。取り組みを進めて言ってほしい。
- ・社会ニーズの発掘からスタートアップ創出の取り組みのシームレスな接続ができつつあり評価できる。県の産業政策と益々密に連携して欲しい。
- ・県と一体となった取組が行われ、職員の交流も始まっており、県の企業誘致などの施策も活用した地域産業活性化に期待する。
- ・シーズの異分野展開による社会実装の進展にも期待している。
- ・有機材料分野では国際拠点化を目指しており、グローバル展開への意志を明確にしている。今後地公体との協力、他地域・他大学との連携も強化して欲しい。
- ・長らく有機 EL について多くの支援を受けたにも関わらず社会実装が遠かったことは課題。対象を医療、食品に拡大する提案だが、本来は本事業なしで実現すること。本事業を活用することにより実現を加速し、支援終了後も自走できるよう努力してほしい。
- ・地域発スタートアップの推進には地公体と共に取り組んでいるが、具体的成果を挙げるよう取り組んでいてほしい。

## 国立大学法人香川大学 香川大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・総合計画に希少糖を位置付け進めている点において、地域を挙げた産業創出に自治体と主に共創している点は評価できる。また、それに係る地域共創体制としても、県の産業支援財団との連携、75名を併任で事業化を構想する点は評価できる。またライフサイエンス領域に展開する可能性が非常に高く、事業化インパクトも大きい。
- ・有望な用途が期待されている希少糖開発について、地域企業と連携することにより、しっかりと進めていただきたい。
- ・自治体との連携も強固に感じられ、産学官連携体制が構築されている点は高評価。
- ・実績のある希少糖を核として応用を食品から、医療・農業（農薬・飼料等）に拡大しようとしている点は戦略として明快である。
- ・地域振興への効果が限定的ではないかと考えていたが、県の協力も得て、色々な分野での応用拡大が進んでいる点も良い。
- ・希少糖に係わる独創的取り組みは地公体も含め、ユニークな地域貢献を生み出している。
- ・希少糖のプロジェクトは食品産業全体の広がりをもって研究対象となっており、社会実装への裾野も広いと考える。
- ・希少糖の事業化拡大、香川県の産業創出に特化して、全大学のリソースを割いている点は評価できる一方で、県全体の政策の中での一部に特化している印象を受ける。
- ・希少糖の研究を大学の今後の中心戦略に置くという方針は、現在のこの技術への注目を考えると正しい選択だと思うが、こうした新技術は国際競争に晒された時にどのような新基軸を作るのかという視点も保持しておいてほしい。
- ・今後はどのようにして大学に第二・第三の希少糖プロジェクトを産み、育てることが出来るかが課題となる。その為には何故希少糖を生み出し得たのかを分析し、それを大学経営のあり方、研究開発のあり方に結びつけてチャレンジして行く事が重要である。

## 国立大学法人鹿児島大学 鹿児島大学

(審査・評価委員の所見)

- ・南九州における畜産・獣医学拠点が順調に進展している。イノベーション人材へのさらなる投資が必要とされており期待する。
- ・スタートアップの取り組みについて、学内の支援人材の育成体制も整いつつ、徐々にではあるが県内のエコシステム拡大に寄与している点は評価できる。
- ・畜産分野において南九州を牽引する拠点となること、また博士人材の活躍の場の拡大としての環境整備を期待する。
- ・県の農政部局との連携を強化し、主要産業である地域畜産業の高度化に努めてほしい。
- ・本事業により地域振興貢献が期待できる。畜産や関連農産物等は確度が高いと感じるが、リサイクルについてはこれからの課題であり期待している。
- ・地場産業及び地公体との協同作業の実績を積み上げてほしい。
- ・国際展開への道筋や鹿児島に留まらず、南九州（熊本、宮崎、大分など）との共同プロジェクトへの展望を強化してほしい。

## 国立大学法人千葉大学 千葉大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・客員コーディネーター制度を活用し、地域の健康まちづくり、Well-being 研究を積極的にされている点、期待できる。
- ・自治体との関係性において、県の産業政策として産業振興施設を整備し、スタートアップ支援等も実施しており、今後の具体化を期待する。
- ・骨太の方針にも記された地方自治体における Well-being 指標の活用についても、大学を中心とした国際研究がなされており、評価できる。
- ・若手研究者の巻き込みは重要。引き続き注力して欲しい。
- ・文部科学省の地域中核・特色ある研究大学強化促進事業と本事業の分担を明確に分け、かつ連携案を考えている点は優れている。
- ・新しいリサーチパークはより広範囲にオープンであるべきと考える。また千葉という地域への貢献では、千葉市のような都市部のみならず広い貢献を考えて欲しい。
- ・千葉市への一極集中とならないように、千葉市以上に人口減少による弱体化の課題を抱える自治体への支援も強化して欲しい。
- ・ウェルビーイングに焦点を当てるのは良いと思うが、外部資金を集めるには更にテーマを具体化していくことが望まれる。
- ・今後、リサーチパーク内に於ける産官学連携の実績をどのようなスピードでどのような規模で、どのような内容で実現していけるかが鍵となる。
- ・免疫学、ワクチン学や予防医学の分野でも卓越しており、本分野に於ける社会実装化の積み上げを進めて欲しい。



## 国立大学法人長岡技術科学大学 長岡技術科学大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・バイオコミュニティや長岡市との密接な協力関係が素晴らしい。また高専との連携も中心的な役割を果たしており活動を継続して取り組んでほしい。
- ・自治体の施設に入居し、大学シーズの橋渡しを行うシステムは効果的である。
- ・地域丸ごとプロデュースというコンセプトの元、企業連携も進めてきていることについても評価できる。
- ・提案はやや総花的であるため、ターゲットを絞って地域連携を進めてほしい。COI-NEXT も本格型に昇格したため、この共創の場を利用しながらプロデューサー人材育成を進めてほしい。
- ・地域課題の広範な拾い上げや、課題の優先度の決定にどのようなプライオリティを付けていくことは、行政に任せの方が良いのではないか。
- ・本事業を導入することによる地域振興への効果について、しっかりフォローしてほしい。
- ・文部科学省の地域中核・特色ある研究大学強化促進事業との併行申請についてもう少し整理する必要がある。

## 学校法人立命館 立命館大学

### (審査・評価委員の所見)

- ・私立大学としては大きな大学基金も有しており、滋賀県を中心として新しいゲームを大規模に展開する可能性を持っている。
- ・ソーシャルインパクトファンドを活用した社会課題解決価値創出に加え、それを通じた次世代人材育成など、全体としてのプログラムが充実しており期待できる。
- ・小中からの一貫教育、ソーシャルインパクトファンド等、独自の活動をしている点は評価に値する。
- ・地域貢献と地域発スタートアップについても相応の取り組みが進められており、特に地場製造業の競争力とのリンクが特色となっている一方で、突出した研究領域を持っていない。研究力の底上げが今後の課題である。
- ・地域課題の解決に寄与する事業ではあるものの、地域産業の収益や大学の外部資金の確保に結びつくのか、疑問が残る。
- ・ソーシャルインパクトファンドの発行や、小中高大一貫教育などの特色を強化して、地域中核としての立ち位置を強化して欲しい。
- ・地域振興事業の点ではまだ準備不足の感があり今後期待している。
- ・国際的展開についても期待している。